

ICT 委員会チームで取り組む感染防止活動

海南医療センター

感染管理認定看護師 中本 千秋 西川 滋子

2000年 ICT 委員会立ち上げ当初から感染防止対策に力を入れて活動をしている。病床数 148 床の海南・海草地区の中核病院で、血液疾患患者が多くなり、以前は血液培養検査が、月平均 60 セット程度であったが、80~100 セットと増加している。採取のほとんどが外来の救急科で実施する為、2016 年 4 月より**救急科看護師**に採取時の 2 セット準備徹底を依頼した結果、2016 年度は 83%、2017 年度は 96% まで増加した。



2018 年度は、採取時の無菌操作手技を徹底する為、ベストプラクティスを用いたイラスト手順書の見直しと手技の統一を図った。見直し後の手順書を用いた**教育前現状把握**では、「物品消毒」「穿刺」「分注・混和」は遵守率 80%の目標値に達していたが、「皮膚消毒」「ボトル消毒」の項目では 20~40%の遵守率であった。これらの項目を重点的に看護師に個別指導を実施した結果、遵守率は 80%を上回った。現在では、2 セット率 92~96%、**汚染率 1.0~1.5%**で推移している。2019 年度は、医師にも血液培養検査手技を浸透させていく予定である。

その他の活動としては、2018 年に**保健所と共同**で「ATP ふき取り検査を活用した退院時清掃マニュアルの作成と検証」を実施した。環境表面への微生物の定着と増殖を防止するためにマニュアル活用を地域に広めていけるよう検討を行っている。また、2019 年 11 月の海南保健所管内での感染防止対策研修会では「誤嚥性肺炎予防のための口腔ケア」について**摂食・嚥下障害認定看護師、言語聴覚士と協働**で実施する。今後も多職種と連携を図り感染防止対策に取り組んでいく予定である。